

花札あわせ (神経衰弱)

【 記憶力 】

難易度 ★★☆☆

楽しさ ☺☹☹



【 概要 】

- ・トランプではなく、花札を使った「神経衰弱」で、絵柄を合わせる
- ・どこに、どの「絵柄」があったか覚えて、同じ花の札を合わせる
- ・取った枚数ではなく、花札の点数で勝負する
- ・記憶力を鍛えます

準備

- ・ 3～5人ごとに、花札1組を準備し、机の回りに輪になって座る
- ・ 机の上に、すべての花札を伏せて(絵柄を隠して)並べる。
- ・ 花札の絵柄ごとの点数を知らない方がいたら、事前に説明しておく
⇒ 例)基本の絵柄は1点、短冊は5点、動物や豪華な絵柄は10点か20点

方法

- 基本的なルールは、トランプを使った「神経衰弱」と同じです
- ① 順番に、どこでも良いので、伏せて置かれている花札を2枚めくる
A. 描かれている花が同じ場合 ⇒花札を手元に取り、もう1回
B. 描かれている花が違う場合 ⇒花札2枚を、机に伏せて戻し、順番を廻す
 - ② 時計回りに、手札をめくる順番を廻し、次々と「花あわせ」を行う
 - ③ すべての花札が組になり、机に伏せた花札が無くなったら終了
 - ④ 各自が取った花札の点数を数え、一番高い得点の方が勝利

チャレンジプログラム

個人ごとの勝負ではなく、グループ対抗の勝負に変えて、すべての花札を組みにするまでの時間を勝負する。なかば協力して行うことで、お互いに脳をより刺激しあう。

※グループ対抗の場合のルール変更

花札を2枚めくった後、絵柄が合っていても、順番を次の方に交代する

【 難しくする方法 】

- ★★☆☆ 花あわせを始める前に、花札2枚を抜いてから花札あわせを行う。
最後まで、どの花札を抜いたのか、内容を確認しないこと。
ゲームは、花が合わない2枚が残ったら時点で、終了とする

■ 花札の一覧(季節と点数)

		1 点	5 点	10 点	20 点
1 月	マツ松				鶴
2 月	ウメ梅			鶯	
3 月	桜桜				幕
4 月	フジ藤			ほととぎす	
5 月	アヤメ菖蒲			八橋	
6 月	ボタン牡丹			蝶	
7 月	ハギ萩			猪	
8 月	ススキ芒			雁	満月
9 月	キク菊			盃	
10 月	モミジ楓			鹿	
11 月	ヤナギ柳			燕	小野道風に蛙
12 月	キリ桐	神聖珠貫 朝暮堂 西窓月			鳳凰